工事の有資格者で、自らの設計、製作した処理能力1基につき、5時間当たり80㌧以上の規模の高速回転式破砕機（横型）を備えた粗大ごみ処理施設の実績があることなどを求めている。

11月6日に開札する。

概要は、粗大ごみ資源化施設（5時間当たり100㌧）、ペットボトルスラグ資源化施設（同55㌧）の建設と、旧沼上工場の工場棟、管理棟（基礎など）、屋外付帯施設などの解体となる。

予定価格は、39億10

愛知県

23日まで申請受付

境川流域下水処理施設6

愛知県は、「境川流域下水道事業水処理施設築造工事（その6）」の一般競争入札を公告した。確認申請書は23日まで、入札書と工事費内訳書は10月11日から12日までそれぞれ電子入札システムで受け付け、同15日に開札する。

主な参加資格は、土木工事業の特定建設業許可業者3社によるJV。

土木工事業の経営事項評価点数は、代表者が1200点以上、第2構成員が1060点以上1499点以下、第3構成員が960点以上1199点以下を必要としている。契約後VEを適用する。

工事概要は、5系水処理施設の土木躯体築造工事（工事延長173・95㍍、幅54・50㍍、1日当たり処理能力3万4800立方㍍）。予定価格は29億2133万1000円（税込み）。

工期は2009年12月15日まで。工事場所は刈谷市浜町地内。

工期は、2011年3月31日まで。

建設地は葵区沼上地内。

エネサーブらに決定

CO_2排出量を考慮　県議会議事堂など

愛知県の電力購入

愛知県は、県有施設の電力購入先を決める際に、発電時の二酸化炭素（CO_2）排出量で入札参加者を裾切りする方式を、県議会議事堂（名古屋市中区）と自治センター（同）の2施設を対象に実施した結果、エネサーブ（滋賀県大津市）とダイヤモンドパワー（東京都品川区）をそれぞれの落札者に決めた。契約期間は、10月1日から2008年9月30日までの1年間。2施設のCO_2排出量の削減見込みは年間約416㌧で、県の事務事業に伴い排出されるCO_2全体の約0・3%に当たるという。

県はこれまで、大量に電力を使う施設は、複数の電気事業者による価格競争入札を実施してきたが、地球温暖化対策のため、入札参加資格決定の際に発電時のCO_2排出係数を考慮する方式を取り入れた。同様の方式は神奈川県や横浜市、環境省、経済産業省で実施している。

県が基準としたCO2排出係数は「0・555㌔－CO_2／㌔㍗時」（1㌔㍗の電力を1時間発電した場合に排出するCO_2が0・555㌔）で、これを下回る電気事業者のみが入札参加し、価格競争で事業者を決めた。

その結果、議会議事堂は3社が応札し、3804万6485円（予定使用電力量165万7000㌔㍗時）でエネサーブが落札。自治センターは2社が応札し、6544万7020円（同4536万5000㌔㍗時）でダイヤモンドパワーが落札した。

県は今回の結果を踏まえ、対象施設の拡大を検討していくという。

平屋建て1506平方㍍③2008年3月21日まで。

▽三重県警察学校射撃場改修工事（津市高茶屋4－2750－1）＝①三重県

14日まで受け付ける。10月25日に開札する。

区間300㍍、落差工一式、護床工一式、除石工約10万立方㍍。工期は2008年9月30日まで。

中日本高速

申請受付27日まで

技術提案競技方式　東海JCT鋼上部工

中日本高速道路名古屋支社は、第二東名高速道路東海ジャンクション（鋼上部工）工事の一般競争入札を公告した。技術提案協議方式を適用する。

申請書は27日まで、電子入札システムで受け付ける。9月28日に開札する。

参加資格は、鋼橋上部工工事Aの単体か、A同士の2社JVなど。

概要は、本線ランプ橋（5カ所、長さ928㍍×1連）、歩道橋（1カ所、長さ64㍍）の総鋼重1800㌧の鋼橋上部工。

工期は990日。工事場所は、愛知県東海市新宝町～名和町。

の一般競争入札を公告した。申請書などは24日まで、契約監理課で受け付ける。9月19日に入札する。

予定価格は、10億7520万円（税込み）で、

参加資格は、2社JV。代表者は県内に本店、支店、営業所などを置く場合、建築一式工事の総合評定値1000点以上。その他は1100点以上を求めている。

必要となる。

概要は、RC一部S造2階建て延べ6050平方㍍の校舎の建築工事。

工期は2009年2月27日まで。建設地は伊賀市印代・服部地内。

簡易公募型競争入札方式に係る手続開始の公示
（建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を除く））

次のとおり指名競争入札参加者の選定の手続を開始します。
平成19年8月20日
分任支出負担行為担当官
北陸地方整備局新潟国道事務所長　森岩　峰存

1　業務概要
(1)　業務名　水原バイパス軟弱地盤調査解析業務委託（電子入札対象案件）
(2)　業務内容　軟弱地盤に高盛土構造の道路を整備するにあたり、最適な対策工法を選定するための基礎となるデータを得るために、地質調査及び解析を行う。
(3)　履行期限　平成20年2月29日
(4)　本業務は、簡易公募型競争入札方式により価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（試行）業務である。
(5)　業務実施形態
当該業務は提出資料、入札を原則として電子入札システムで行う対象業務である。なお、例外的に電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入

北陸

北陸支局
〒920-0912　金沢市大手町13-11　グランドパレス大手町503
電　話　076-261-6062
ＦＡＸ　076-261-6063
新潟支局
〒950-0961　新潟市東出来島1-15　中部川崎ビル2階
電　話　025-281-3094
ＦＡＸ　025-281-3160

28日まで受付

新潟国道の水原BP　軟弱地盤調査解析

北陸地方整備局新潟国道事務所は20日、水原バイパス軟弱地盤調査解析業務委託を総合評価落札方式による簡易公募型競争入札で公告する。

＝下段に公告

参加資格は地質調査業務の有資格者。参加表明書は、28日まで受け付ける。技術資料の提出期限は9月21日。入札期限は10月10日で、11日に開札する。

災害対応を円滑化

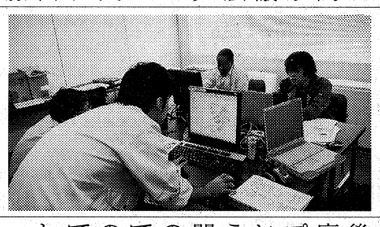
県にGIS活用報告

産官学民チーム

新潟県中越沖地震災害対応支援GISチームは16日、新潟県庁を訪れ、活動内容を泉田裕彦知事に報告した＝写真。同チームは新潟県中越沖地震による被災地域での効率的な災害対応を実現するため、産官学民のメンバーが立ち上げた組織で、県の要請を受けて災害対策本部内に地図作成班を設置し、GIS（地理情報システム）を活用したデジタル地図の作成を通じて、7月19日から今月10日までの間、県の災害対応業務を支援してきた。

新潟県中越沖地震

当日はプロジェクトリーダーを務めた林春男京大防災研究所教授、浦川豪京大生存基盤科学研究ユニット助教、田村圭子新潟大災害復興科学センター准教授のほか、民間企業で構成する「にいがたGIS協議会」から坂井宏子会長（中央グループ取締役GIS事業部）、坂井浩副会長（ナカノアイシステム取締役営業部長）、武藤康生理事・事務局長（中央グループ取締役）が訪問し、これまでの活動を報告した。



早期の復旧・復興を支援したGISチーム

泉田知事は「どこで何が起きているのか地図で瞬時に把握でき、災害対応の円滑化に大変役に立った。災害対策の標準装備にする必要があると強く感じた。ありがとうございました」と感謝の意を表した。

これを受け、坂井会長は「GISは災害時に有効なツールだ。それが今回の地震対応で生かされ、われわれとしても大変うれしく思っている」と答えた。林教授が「今後はGISによる災害対応の重要性を外に向けてプロモートしていきたい」と話すと、知事はあらゆる機会をとらえ、内閣府や関係省庁などの国の機関に対して、県として災害時におけるGISの活用の有効性を説明していきたいとの考えを示した。

地図作成班では県や北陸地方整備局が集めた被害状況、復旧状況、対応状況などをGISを活用して一元化し、災害対応業務を支援した。地図作成総計は185枚。1日当たり10人程度が作業に当たり、チーム撤収までの期間に延べ約300人が作成に従事した。

県防災局危機対策課では「避難所と通水状況との位置関係などが把握しやすかった。現状対策や今後の復旧計画などの作成を早めることに大いに役立った。今回はボランティアで支援してくれたが、今後の災害時での活用を想定し、連携策を考える必要がある」としている。

地図作成に参画した組織は、次のとおり。

▽にいがたGIS協議会（正会員＝オリス、金井度量衡、キタック、中央グループ、ナカノアイシステム、BSNアイネット）▽同（賛助会員＝エヌ・ティ・ティ・データ・シー・シー、インクリメント・ピー）▽同（協力団体・企業＝くびき野GIS協同組合、武藤工業、日本加除出版、刊広社、日本アイ・ビー・エム、東芝情報機器）▽GIS防災情報ボランティアネットワーク▽地域安全学会▽ESRIジャパン▽パスコ▽京都大学防災研究所▽京大生存基盤科学研究ユニット▽新潟大災害復興科学センター▽名古屋大学災害対策室▽横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター。

技術に翔る

きめ細かな配慮と工夫

中越興業常務工事部長　大久保　正一氏

富山県高岡市内で施工した「内島横断函渠その2工事」で北陸地方整備局の2006年度完成優良工事局長表彰を受賞した。同社の大久保正一常務工事部長は「現場は交通量も多く苦労したが、努力が報われてうれしい」と満面に笑みを浮かべる。

同工事は、国道8号西高岡拡幅整備事業による4車線拡幅と地下道BOXを施工した。地下道BOX工事に伴う交通切回しや地下埋設物（下水管）対策、近隣への振動・騒音対策が求められるなど、「施工条件の非常に厳しい中で、適切な工程管理と施工管理を行い、出来映え、品質ともに優れた構造物を工期内に無事故で完

評価され

また、

がある

地元説明

に配慮し

理由とな

大久保

差点部で

区間の改

切り替え

だった。

全の配慮

返る。地

OX施工

たので対

で対策を

する住宅